

項目	内 容	備 考	
学級指導目標	<p>目標に向かって継続して努力できるクラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の規範があること</li> <li>・自分ができることを主体的に頑張れること</li> </ul> <p>居心地の良いクラスにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の居場所(役割)があること</li> <li>・自己開示できる集団であること</li> <li>・仲間はずれやいじめがないこと</li> </ul>	<p>・学年経営案:「3年間で家を建てる」1年生「基礎工事」の取り組み</p>	
学級観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生活に慣れようと前向きに活動し、活躍したいと考えている生徒が多い。</li> <li>・一方で、人間関係をつくる能力が未熟で、お互いに声を掛け合ったりする事ができずに、級友とのかかわりに距離をもったままの生徒もいる。</li> <li>・学習の目標や目的が不明瞭で、どのように家庭学習をしたらよいかもわからず、定着していない生徒が多い。</li> </ul>		
学級指導の重点	学 習	<p>メリハリのある授業態度ができる集団を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1分前着席や授業中の態度など正しい行動ができるようお互いに注意し合えるようにする。</li> <li>・教室内の掲示やロッカーの整美を徹底し、忘れ物をしないように「自分ログ」帳を活用するなど提出物の確認が各自でできるようにする。</li> <li>・「はい、立つ、～です」の発表ルールやグループ活動を充実させ、意欲的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	できたら褒める。
	生 活	<p>基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生としての自覚をもたせ、学校での行事や生活での行動や言葉遣い、立ち振る舞いに気を付けさせる。</li> <li>・授業規律や場面に応じた挨拶を徹底し、礼儀と規範意識を身に付けさせる。</li> </ul>	
	道 徳	<p>個性の伸長と他者への思いやり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場に立ち、自分が嫌なことは相手に言わない、しないを合言葉にし、思いやりの心を育てるため、道徳の授業を活用し指導していく。</li> <li>・傷つけられないという安心感の中で、仲間との交流が促進されるように、学級内の対人関係トラブルのについて皆で考えられる雰囲気を作る。</li> </ul>	「恩送り」を合言葉に、それぞれが思いやりをもって手助けをする心を育む。
	特 別 活 動	<p>学級活動・係活動・行事の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事などをで、リネーション(ふれあいのある本音の感情交流)を確立させ、学級内に仲間意識が生まれるようにする。</li> <li>・学校行事を通して、それぞれの役割を担い、主体性と責任を養う。</li> </ul>	
	進 路 ・ そ の 他	<p>進路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基礎基本を身に付けるため、自分に合った学習のやり方について考えさせ、家庭学習の定着を図る。</li> <li>・学年便り、保護者会、面談などを通じて家庭と連携をしていく。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要な生徒については、注意深く観察し、必要に応じてSSWにつなげていく。それぞれの生徒に応じた支援をすると同時に、定期的に様子を伝えるなど家庭と連絡を取り、相互理解をしながら連携体制を構築していく。</li> </ul>	・1年生「基礎工事」の取り組み